

【様式1】

概要書

研究名	よしず製造装置の開発
民間機関等 (相手方)の名称	株式会社 池貝正一商店
研究の概要	<p>渡良瀬遊水地に生育するよしを材料としたよしず製造において、装置自動化や機能付加をおこない、省力化、高付加価値化を目指す。</p> <p>よしず製造においてボトルネックになるのが、よし表面に付着した皮を除去する皮むき工程である。現状手作業で行っており自動化を実現できれば、よしず製造の生産性が向上する。またよしを編む工程では、昭和30年頃の編み機を現在でも使用している。編み工程の半自動化と、レーザ刻印機能をつけることで高付加価値化を図る。</p> <p>今年度達成した成果を次に述べる。よしの皮むき工程においてよしの自動供給、よしの自動皮むきを実現した。しかしタクトタイムに関して、求められた作業時間に対して大幅に超過しており、実際の使用には、改善が必要である。またよし編み機については、半自動化を実現したが、求められたタクトタイムは達成できなかった。またレーザ刻印機能については動作確認を行った。</p>